

資格の大原

就職の大原



平成30年度

東京消防庁消防官 I 類第 1 回採用試験

大原の的中速報を大公開!!



社 会【大原公開模擬試験】

[No.8] 労働に関する次の記述のうち妥当なものはどれか。

1. 労働基準法は、日本国憲法22条の職業選択の自由を根拠に、労働条件に平均的な基準を設け、労働者の権利を保護するものである。
2. 労働組合法は、日本国憲法で規定された労働三権を保障するものであるが、警察官や消防官には労働三権は認められていない。
3. 労働三法は、労働基準法、労働組合法、最低賃金法であるが、近年、最低賃金法については2017年の改正で同一労働・同一賃金が規定された。
4. 長時間労働を是正するため、2017年の通常国会で労働基準法が改正され、月60時間を超える分の残業代の割増率が50%以上に引き上げられた。
5. 2017年の通常国会で制定された働き方改革関連法は、正社員だけでなく、パートやバイトなどの非正規雇用者にも業務災害や通勤災害での労災保険の適用を認めた。



本試験問題

No.26 の 1 ⇒ 肢 1

No.26 の 3 ⇒ 肢 2

No.26 の 5 ⇒ 肢 5

地 理【大原公開模擬試験】

[No.13] 南アメリカに関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

1. 南アメリカ大陸北部には、世界で最も流域面積が大きいラプラタ川が流れている。ラプラタ川の流域は熱帯雨林気候で、パンパとよばれる広大な密林が形成されているが、近年は伐採などに伴う森林破壊が大きな環境問題となっている。
2. 南アメリカ大陸の気候を見ると、北部に熱帯気候、中部に乾燥気候、南部に冷帯気候が分布している。アルゼンチン南部のパタゴニアには冷帯の大針葉樹林帯が広がっており、アルゼンチンはカナダやロシアと並ぶ木材輸出国となっている。
3. 南アメリカ大陸東部のブラジル高原には肥沃な黒色土のテラロッサが分布しており、コーヒーの栽培が盛んである。ブラジルは世界第1位のコーヒー生産国であるが、他の農作物の生産量は少なく、モノカルチャー経済の状態にあるといわれる。
4. 南アメリカ大陸西部には古期造山帯のアンデス山脈があり、炭田が多いため、ペルーは世界第1位の石炭産出国である。この地域には銅山も多く、チリ北部には世界最大の埋蔵量を誇る銅ベルトが広がっている。
5. 南アメリカのほとんどの国がスペインの植民地であったことから、スペイン語を公用語とする国が多い。しかし、ブラジルはポルトガルの植民地であったことから、南アメリカでは唯一ポルトガル語を公用語としている。



本試験問題

No.33 の 1 ⇒ 肢 5

No.33 の 2 ⇒ 肢 1

政治【大原公開模擬試験】

[No.24] 日本の裁判所に関する記述として、最も妥当なものはどれか。

1. 最高裁判所の裁判官は、任命後初めて行われる衆議院議員選挙もしくは参議院議員選挙の際に国民審査に付され、その後10年を経過した後初めて行われる衆議院議員選挙もしくは参議院議員選挙の際に更に審査に付され、その後も同様である。
2. 下級裁判所の裁判官は、最高裁判所の指名した者の名簿によって、国会により任命され、任期は20年であり、再任されることができる。
3. 最高裁判所の裁判官は、定期に相当額の報酬を受け、在任中減額されることはないが、下級裁判所の裁判官は、定期に相当額の報酬を受けるものの、在任中減額されることがある。
4. 最高裁判所は、一切の法律、命令、規則又は処分が憲法に適合するかしないかを決定する権限を有する唯一の裁判所であって、下級裁判所に違憲審査権は認められない。
5. 憲法は、裁判官の懲戒処分は、行政機関がこれを行うことはできないと規定しているが、立法機関による懲戒も禁止されると解されている。



本試験問題
No.24 の 3